

事業団からのお知らせ

Vol. 10(令和7年4月)

新年度を迎え、進学、就職、転勤など新たな生活を始められた方も多いと思います。事業団日立事務所では3名の職員が加わりました。引き続き、安全安心を最優先に工事を進めてまいります。

今号では、前号でお知らせいたしました施工管理ワーキンググループと環境モニタリングに係る有識者会議について詳しく掲載(裏面)いたします。



防災調整池 放流塔と吐け口の整備が完了

防災調整池(埋立地外の雨水を一時的に貯留するための施設)からの雨水放流量を調整し、安全に鮎川に流下させる役割を担う「放流塔」と、鮎川への接続点である「吐け口」の整備が完了しました。「放流塔」は、縦32m、横7m、高さ10mの大きさがあります。



放流塔の完成状況



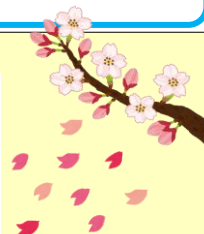
吐け口の完成状況

【お問い合わせについて】

担当: 一般財団法人 茨城県環境保全事業団 新最終処分場整備日立事務所

電話: 0294-33-8731 E-mail: seibi@ef-kasama.or.jp

その他: 工事に関するお知らせは、茨城県環境保全事業団の
ホームページ(<https://ef-kasama.or.jp/newfacility/info>)
又は二次元コードからご確認ください。



施工管理ワーキンググループと環境モニタリングに係る有識者会議を開催

3月8日(土)に開催した大学教授等の有識者で構成する施工管理ワーキンググループと環境モニタリングに係る有識者会議の様子をお伝えいたします。

施工管理ワーキンググループ

① 遮水工の適正な施工方法を審議

埋立地底部の遮水構造となる水密アスファルトコンクリート及びベントナイト砕石の適正な施工性を確保するため、試験施工の結果に基づき、埋立地の造形成状を変更することについて、審議しました。



水密アスコンの試験施工



ベントナイト砕石の試験施工

② 法面保護工の適正な施工方法を審議

急傾斜となっている東側法面の現地調査の結果等を踏まえ、石灰岩部分の法面を中心に、有機繊維を混ぜた補強モルタルを吹き付ける法面保護対策を実施することについて、審議しました。



補強モルタルの試験施工



有機繊維

環境モニタリングに係る有識者会議

有識者会議では、昨年実施した環境モニタリングの結果をもとに審議し、周辺環境への影響がほとんどないことを確認いたしました。

4月からも、住民の皆様安心していただけるように、有識者の意見を踏まえた適切な環境モニタリングを実施してまいります。



当日の資料や議事録は右の二次元コードから御覧いただけます。



施工管理ワーキンググループ



環境モニタリングに係る有識者会議

【会議後に現地視察を実施】

羽黒山堆積場において、盛土材料となるズリの状態を確認してもらうとともに、埋立地において、盛土工事の進捗状況や今後の工事内容等を説明いたしました。



処分場建設工事中の環境モニタリング

● 大気質(2月測定)

処分場整備地との敷地境界において降下ばいじんの上昇がみられたので、散水等の追加対策を実施します。

● 騒音・振動(2月測定)

工事の影響はほとんどなく、全ての地点で環境基準未満でした。

● 水質(2月測定)

工事の影響はほとんどなく、すべての測定項目で基準未満でした。

● 地下水(2月測定)

工事の影響はほとんどないことを確認しました。

環境モニタリングの詳細な結果は、事業団のホームページで公開しています。



処分場建設工事中の環境モニタリング結果



処分場建設工事中の環境モニタリング実施地点